

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	成年後見制度の案内パンフレットの設置がなされていない。制度の利用について、後見人として社会福祉士、司法書士それぞれの場合の違いなどの概要を理解が出来ていない。	利用者様、家族様への情報提供のためにパンフレットを設置する。また、制度の利用について後見人として社会福祉士、司法書士それぞれの場合の違いなどの、大まかなことを職員が理解する。	玄関の面会簿横に、法人のパンフレットと共に後見制度のパンフレットを設置する。また、職員の研修時に、成年後見制度の勉強会の機会を持ち、概要の理解を深め、周知する。	6ヶ月
2	20	利用者様の重度化に伴い、家族様と馴染みの場所へ出かけられる事がなくなって来た。関係継続の支援の取り組みが薄くなっている。	利用者様がどこで生まれ、何をされていたのか、生き方の接点はどこにあるのかなど関係性になるものを掘り起こし、馴染みの関係継続の支援に繋げていく。	担当者を中心に、面会時などに家族様に利用者様の生活歴などお聞きし、関係になるものを掘り起こす。また、日頃の話の中から小さなことでも吸い上げ馴染みの関係作りに努める。	6ヶ月
3	49	週に一度程度の散歩、食材の買い物、2、3か月に一度の外出、地域行事への参加は出来ているが、個別の行きたい日に、生きたい場所には行けていない。本人の思いに沿った外出は叶っていない。	一人ひとりに合った、その日の希望に沿った個別の外出や、リハビリを目的とした歩行訓練としての散歩を実施する。	利用者様の意欲や自立を保つために、日常的な外出に限らず本人の行きたい場所、懐かしい所、美容院、墓参りなど本人の思いを引き出す関りを日頃から大切にす。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。